

エアー・静電・温風・冷  
風機材使用してのユー  
ザーの声と現在の実作  
業でのユーザーの声



## 【現状の声①】

有機系塗料をお使いの皆さん次の事でお困りではありませんか・・・。

- 夏場の塗装問題・・・
- ①初期乾燥の早すぎで塗装肌のザラツキ
  - ②ボカシ際の黒ずみ、肌荒れ、ボカシムラ
  - ③遅乾シンナー使用による締まり具合
  - ④塗り込みすぎによる塗リムラ、乾燥性
  - ⑤外気温の管理と使用溶剤の使い分け

等々多々な問題が発生しやすくなります。

また、

- 冬場の塗装問題・・・
- ①塗り込み過ぎでの締まり乾燥の遅さ
  - ②乾燥性の早いシンナーの使用でのボカシ際の黒ずみ
  - ③塗装膜厚全体的な乾燥性の遅さ
  - ④溶剤蒸発の早いシンナー使用による肌荒れ吹きムラ等の問題

等々トラブルが夏・冬場には付きものです。

以上の事から塗装は豊富な経験が必要になっています。

## 【現状の声②】

水性塗料をお使いの皆さん、また、これから水性塗料を使って観ようかなと考える皆さん、色々と問題点があると思いますが・・・。

水性塗料の一般的なたらえ方として

- 乾燥性が遅い
- ペーパー目が開きやすい
- ハジキ易い
- 夏場のボカシ際が荒れる
- 塗装時間が多くかかる
- 調色が難しい
- 有機系クリヤーを塗布すると吸い込みが出る  
.....艶引けする
- 塗装膜厚が薄く、隠蔽性が悪い
- 保管の問題が面倒

等々その他多数の問題提起がありますが、そのような水性の特徴についてきちんと理解して使用すると非常にメリットがある塗料であると理解できます。

# 【提案打開策】

以上のような方々に、下記のような製品と考え方をご提案します。

ご提案する製品は有機系塗料をご使用の皆様には

- ①塗装回数を削減できる機能を持ち
- ②塗装平面の塗装方法が簡単にでき、吹きムラが無くなり
- ③ボカシムラの黒ずみがなくなり
- ④吹付塗装の粒子の分散性が向上し、乾燥性の向上とムラの発生がなくなり
- ⑤作業効率、作業スピード、作業難易度を低下させ
- ⑥トータル的に高品質な塗装作業に寄与します。

又、調色性においても、新車ラインの静電塗装（水性）と同様のアルミ・パール等の塗膜形成（成り立ち）を得ることが可能であり、調色対応がスムーズになります。

水系塗料を使用する皆様には

- ①夏場の塗装作業において、ボカシ際のザラツキをなくすことができ  
・・・アンダークリヤー等の使用は必要なく
- ②水性塗料独特の吹付塗膜の表面改質効果が非常にスムーズに進み、均一な肌  
が形成され、吹きムラ（パターンムラ）がなくなり
- ③初期乾燥性が遅くなるが、乾燥本来の水・アルコール等の溶剤蒸発のスピードが速くなり
- ④また、通常のガンスプレー作業よりは塗装回数が少なく済み、塗装回数の削減につながる。



## 【静電・冷風・温風を使用した実車塗装評価・ユーザーの声】

### 静電・冷風・温風仕組み塗装の特徴

- ①塗装時の吹きムラがない ②隠蔽性が増す ③塗装の噴霧状態が均一
- ④溶剤等の抜けが良い ⑤乾燥性が良くなる ⑥吹付膜厚が厚い
- ⑦スプレーダストの廻りへの飛散が少ない
- ⑧ボカシ部分の黒ずみ等が少ない ⑨ボカシ部分のザラツキがない
- ⑩溶剤飛散後の塗膜肌が均一ですっきりする ⑪塗料の使用量が減る
- ⑫塗装回数が減る ⑬塗料の跳ね返りが少ない、よって臭気が少ない

以上のようなメリットが出る。これは水性・有機系でも多少の

違いはあれど同様の結果が得られた。